

生活援助従事者研修における研修カリキュラム及び研修時間数

☆1. 職務の理解	2時間
1-1 多様なサービスの理解	
1-2 介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	6時間
2-1 人権と尊厳を支える介護	
2-2 自立に向けた介護	
3. 介護の基本	4時間
3-1 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
3-2 介護職の職業倫理	
3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
3-4 介護職の安全	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	3時間
4-1 介護保険制度	
4-2 医療との連携とリハビリテーション	
4-3 障害者自立支援制度およびその他制度	
5. 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
5-1 介護におけるコミュニケーション	
5-2 介護におけるチームのコミュニケーション	
6. 老化と認知症の理解	9時間
6-1 老化に伴うところとからだの変化と日常	
6-2 高齢者と健康	
6-3 認知症を取り巻く状況	
6-4 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
6-5 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
6-6 家族への支援	
7. 障害の理解	3時間
7-1 障害の基礎的理解	
7-2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
7-3 家族の心理、かかわり支援の理解	
8. ところとからだのしくみと生活支援技術	24時間
◆①基本知識の学習	
8-1 介護の基本的な考え方	
8-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解	
8-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
◆②生活支援技術の学習	
8-4 生活と家事	
8-5 快適な居住環境整備と介護	
8-6 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
8-7 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
8-8 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
8-9 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
◆③生活支援技術演習	
8-10 介護過程の基礎的理解	
☆9. 振り返り	2時間
9-1 振り返り	
9-2 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
合計	59時間

(☆) 「1. 職務の理解」を研修過程の最初に行い、「9. 振り返り」を最後に行うこと

- (◆) 「8. ところとからだのしくみと生活支援技術」については、
 ・「①基本知識の学習」、「②生活支援技術の学習」、「③生活支援技術演習」の順に行うこと。
 ・移動・移乗に関連した実習を2時間実施すること。

※ 時間数には、休憩時間を含まない